

■鴻池善右衛門(10代・幸富) 大坂の豪商として<明治維新>に対処するも、近代資本主義に対応できずに衰退。

こうのいげぜんえもん

天保改革始・1841＝ 山中又七郎の長男に生まれる。

阿部正弘首座1845＝ 4歳：

孝明天皇・・・1846＝ 5歳：_本家に入り、9代幸実の養子となる。

国定忠治疎・1850＝ 9歳：

尊徳報徳論・1851＝10歳：_養父幸実が死去。

ペリー来航・1853＝12歳：

開国開港・・・1854＝13歳：_国防費献金あり、鴻池の出財は天保献金の半額であったが、以後幕府を支える。

安政の大獄・1859＝18歳：

桜田門外変・1860＝19歳：_用金令あり、鴻池の出財は銀5200貫目。

8月18日政変 1863＝22歳：新選組の芹沢鴨が大坂に来る。天王寺屋五兵衛より入嫁した妻が死去。

禁門の変・・・1864＝23歳：_軍資金徴発令あり、鴻池の出財銀1200貫目。

薩摩藩士密航1865＝24歳：長男(のちの11代幸方)生る。

薩長同盟・・・1866＝25歳：_紀州家五カ国通用銀札の引替方となる。

大政奉還・・・1867＝26歳：*商社御用の命下り、肝煎の筆頭となる。

明治維新・・・1868＝27歳：*三岡八郎(由利公正)来坂し、鴻善以下15名の豪商をその宿に召す。会計基金を富豪に命ず。鴻池は会計御用掛として尽力。御東征に随行して金銭出納の御用を承る。

戊辰戦争終・1869＝28歳：_九万両の御用金令をうけ、三万両即納し、金札引替事務に従事。

初の日刊新聞1870＝29歳：_貿易商社(靈力組)を結ぶ。一種の商事会社(蓬萊社)を始め、両替屋を設立。

廃藩置県・・・1871＝30歳：二男が誕生。_廃藩置県で、当時76藩に取引のあった鴻池の損害莫大。{山広屋長平}なる商店設立。

学問のすすめ1872＝31歳：_{阪栄社}を組織。

明治6年政変 1873＝32歳：_三井家と組合にて堂島両替店を興す。

初の民間工場1875＝34歳：蓬萊社製紙の操業を始めるが、退社。

西南戦争・・・1877＝36歳：_第十三国立銀行設立、本店開業。

琉球処分・・・1879＝38歳：第十三国立銀行京都に支店開業。

明治14年政変1881＝40歳：

新体詩抄・・・1882＝41歳：第十三国立銀行東京支店を日本橋区南茅場町に移転。

岩倉具視没・1883＝42歳：大阪倉庫会社を創立し、社長となる。庶子万蔵(のちの11代幸昌)が誕生。

秩父事件・・・1884＝43歳：*家督を幸方に譲る。土居通夫が鴻池家顧問となる。皇居炎上の際の献金を嘉し、銀盃を賜う。

帝国大学始・1886＝45歳：

国民之友始・1887＝46歳：海防費として五万円献金。喜右衛門と改名。

初の対等条約1888＝47歳：海防費献金のことにより、従五位に叙せらる。

帝国憲法発布1889＝48歳：_日本生命保険会社創立、社長となる。

大本教・・・1892＝51歳：大阪築港研究会より鴻池始め四百名連署、大阪市参事会に築港の建議をなす。

日清戦争始・1894＝53歳：

日清戦争終・1895＝54歳：

八幡製鉄始・1897＝56歳：_個人経営の鴻池銀行設立、第十三国立銀行を満期平穩閉店し、継承。

Bushidou・・・1899＝58歳：鴻池の老分制度を廃止。島村久を鴻池銀行の理事に迎う。芦田順三郎本店支配人となる。

ピアノ国産化・1900＝59歳：鴻池銀行神戸、中之島・上町・西の支店を開く。分家経営の和泉町銀行を合併、合名会社鴻池銀行となす。

田中正造直訴1901＝60歳：鴻池銀行名古屋、金沢、岡山支店を開く。

教科書疑獄・1902＝61歳：*井上馨が鴻池本分家及び銀行の監督となる。大阪倉庫会社を買収。原田二郎鴻池銀行の理事となる。

日露戦争始・1904＝63歳：

日露戦争終・1905＝64歳：鴻池銀行名古屋支店を廃す。

韓国反日暴動1907＝66歳：_井上馨の指名にて原田二郎が鴻池銀行専務理事となり、実質的に手を離れる。男爵を授けらる。

明治天皇没・1912＝71歳：

大正政変・・・1913＝72歳：

21ヶ条要求・1915＝74歳：原田二郎鴻池監督となる。

ロシア革命・1917＝76歳：大阪倉庫株式会社を東神倉庫株式会社に合併。

ハルビン条約・1919＝78歳：原田二郎、鴻池より引退。株式会社鴻池銀行とする。

大暴落・・・1920＝79歳：_没した。